

# いす組便り



令和4年2月  
ナーサリールーム  
担任より

この一年間、おおきく成長したりす組の子どもたち。入園当初は初めての場所に戸惑い、保護者の皆様がい  
ない不安から涙していることもありましたが、わらべうたやふれあい遊びといった身体をふれあわせる遊びで  
安心して、にこにこ笑顔を見せてくれるようになり、行動範囲や物への興味も広がっていきました。

大人も子どもも笑顔でつながるす組でどのように過ごしてきたかお伝えさせていただきます。

## わらべうた・ ふれあい遊び

始めの頃は「にんどころ」で顔をみ  
ながらふれあったり、「おおかせこい」と布を揺らしたり・・・  
お座りができる頃になると、「おふねはぎっちらこ」や「ひこう  
きぶーん」など。いまは「いないいないばあ」が大好きで、す  
こし隠れては笑顔で「ばあ」と顔を出します。お友だちと遊ぶ  
あう姿も見られるようになりました。「何が起こるんだろう？」  
という期待感や「いまはみえなくてもそこにある」と思い描く  
想像力が育っています。肌と肌とを触れ合うスキンシップで人  
と関わる力の基礎が培われ、お友だちと笑顔で楽しく遊ぶコミ  
ュニケーション能力が育ってきました。保育者の歌と体を一緒  
に動かすことで運動能力やリズム感を養い、真似をすることで  
言葉の獲得にも繋がっていきます。

## 人間関係

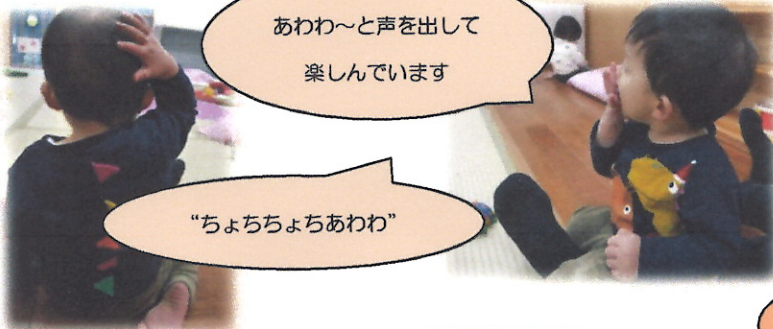


お互いに布を被って  
隠れています

## 表現

“うまはとしとし”  
身体を揺らして  
バランスを取ります

## 言葉



あわわ〜と声を出して  
楽しんでいます

“ちょちょちあわわ”



## 環境

春・・・保育者と一緒に、麻布運動場横  
公園でぼかぼか太陽を浴びて外気浴をした  
り、砂に触れたり、花を見たりと自然に触  
れながら過ごしました。

夏・・・水遊び・感触遊び、水の感触に初  
めは驚いたり、怖がったりしていましたが、  
楽しいことがわかってくると、自分から全身  
びしょり濡らして笑顔で遊んでいました。

## 戸外遊び

秋・・・降り積もったイチョウの葉を集  
めて砂と一緒に容器に入れたり、砂場に埋  
もれたどんぐりをみつけて嬉しそうにみせ  
てくれたりしました。ただ集めるだけで  
なく、自ら遊びも工夫しています。

冬・・・芝生の広場では霜柱を見つけて、み  
んなで踏みしめた感触や音を楽しんでいま  
した。保育者の真似をして「つめたい」など言葉  
も出てきています。夢中で遊んでいて冬ならで  
はこの体験ができました。